

企業の海外進出と雇用問題

企業の海外進出の拡大は、製造業を中心として関連企業・下請企業をまきこみ、国内の事業活動の縮小、外注の削減等による雇用調整も一部に見受けられる。今後の展開如何によっては技術力の低い企業などで、雇用面での影響が出

てくることも予想される。そこで海外進出に伴って、親企業が下請・系列企業に対して行った経営行動と、それに対応した関連企業等の実例を把握し、雇用面における今後の動向と諸問題を探った。

<主査>

・神代和欣 横浜国立大学教授

<研究委員>

・桑原靖夫 獨協大学教授

・山越 徳 獨協大学助教授

・渡辺博頭 日本労働協会研究員

— 目 次 —

序 論

第1章 海外直接投資と雇用問題

第2章 海外直接投資と国内雇用への影響

第3章 企業の海外進出と国内雇用問題

第4章 海外現地生産と労使関係